

WMF Group



WMF クーラー6.5LT

設置・取扱説明書

2020.07.16 版 センタークーラー仕様追加

株式会社 SEB Professional
SEB Professional Co., Ltd

目次

1. このマニュアルの目的
2. 注意事項
3. メーカーの識別
4. 冷蔵庫の識別
5. 本製品について
6. 動作説明
7. 設置と使用
 - 7.1 梱包内容の確認
 - 7.2 設置
 - 7.3 電気接続
 - 7.4 使用
 - 7.5 霜取り
 - 7.6 掃除とメンテナンス
 - 7.7 特殊メンテナンスと修理
8. 廃棄
9. 保証請求
10. トラブルシューティング

1 このマニュアルの目的

このマニュアルは、WMF クーラー6.5LT をご使用になるお客様に、この製品の正しい設置、起動、使用、メンテナンス、さらに掃除に関する説明と便利な情報を提供するだけでなく、残存リスクまたは誤った使用により起こり得る可能性のあるリスクに関する情報を提供します。

このマニュアルを、製品の一部として、大切に保管してください。

このマニュアルに記されている図の中には、その詳細や部品が、お客様がお使いのものとはわずかに違う場合がありますが、これが基本情報の内容を変えるものではありません。

メーカーは、必要に応じて、このマニュアルを予告なく、いつでも変更する権利を有します。

2 注意事項

本製品を安全に正しくご使用いただくためにも、このマニュアルに記載されている規則とガイドラインに従ってください。メーカーでは、このマニュアルに記載されている注意事項を遵守しなかったことに起因する損害について、一切責任を負いません。

このマニュアルで説明する製品は、ミルクまたは同様の飲み物を保存するために開発されています。意図された以外の目的での使用は許可されていません。その他の使用は、不適切な使用と見なされ、大変危険です。

このマニュアルで説明する製品は、商業用途を目的として開発されています。このマニュアルで説明する製品は、屋外使用を目的としたものではありません。

この製品は、身体的・感覚的・精神的な能力または経験と知識の欠如した人（子供を含む）の使用には適していません。ただし、彼らの安全責任者から本製品の使用について説明を受け、責任者の監督下にある場合はその限りではありません。

小さいお子様が、この製品で遊ばないように注意してください。

冷蔵庫に貼付されているラベルをしっかりと読み取ってください。これらのラベルを覆い隠すことなく、ダメージを受けてしまった際はすぐに貼り替えてください。

不具合が発生した場合は、冷蔵庫の電源を切ってください。

特殊メンテナンスを行うことができるのは、資格を持った専門家のみです。

冷蔵庫内の復水器には、熱を帯びたり、鋭利なポイントが含まれたりしている可能性があります。

通常とは異なるメンテナンスまたは修理を行う前には、電源を切り、本製品の熱が冷めるまで、しばらくお待ちください。掃除やメンテナンスを行う時は、必ず、現在の規格に準拠した適切な個人用保護具を着用してください。

部品やケースまたはカバーに貼付されている「感電注意」ラベルは、これらの部品を取り外してしまうと、通電部品に接触してしまう危険があることを示しています。



この冷蔵庫に水をかけないでください。絶対に掃除に有害物質を使用しないでください。この冷蔵庫を熱源にさらさないでください。

この冷蔵庫の中に爆発性物質を入れないでください。火災が起きた場合は粉末消火器を使用してください。梱包材は、現行の規定に従って処分してください。

この冷蔵庫が発する音圧レベルは、70 dB (A)以下です。

3 メーカーの識別

このマニュアルで説明する製品の設計と製造は以下の会社が行っております。

Vitrifrigo s.r.l

Via della produzione,

9 Fraz. Montecchio

61022 Vallefoglia

(PU)

電話番号 : +39 0721 491080

FAX 番号 : 39 0721 497739

メールアドレス : info@vitrifrigo.com

4 冷蔵庫の識

各冷蔵庫には、以下の情報を記した識別ラベルが貼付されています。

- モデル
- 識別コード
- 電源電圧
- 消費電力 (W)
- 消費電流 (A)
- 冷媒の種類
- 冷媒量
- VF シリアルナンバー : 1 文字目と 2 文字目 : 製造年
3 文字目と 4 文字目 : 製造週
5 文字目から 8 文字目 : シリアルナンバー
- WMF シリアルナンバー :

5 本製品について

このマニュアルで説明する冷蔵庫「WMF クーラー6.5LT」は、温度管理下に維持する必要があるミルクまたは同様の飲み物を正しく保存し、コーヒーマシンと併用するために設計されています。

1 電源スイッチ

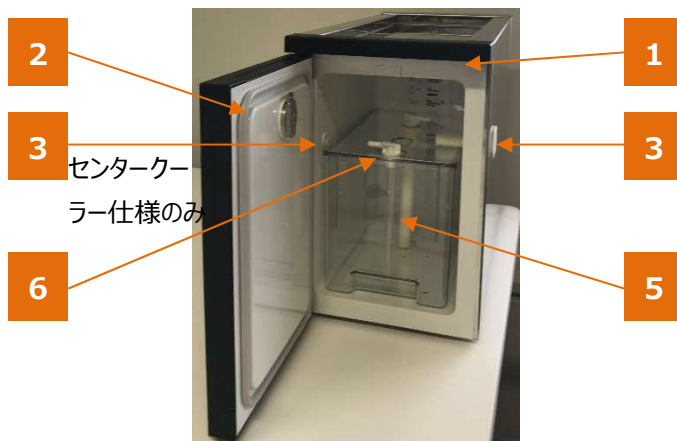
5 キャップ付きミルクタンク

2 パッキン付きフロントドア
(パッキンは取り外し可)

6 チューブ付きプラグ&クリーンアダプタ

3 チューブ出口 (マシン側)

4 ドアロック (見えず)



6 動作説明

この冷蔵庫は、中から外へと熱を伝達する蒸気圧縮冷凍サイクルを使用しております。これにより、事前に設定した安定温度の冷蔵庫内部に保存した飲み物を維持します。

冷媒は、圧縮機に入る前に、冷蔵庫内側の冷えた内壁（内部が蒸発器と接している）を通過して、空気から熱を奪って蒸発します。ここで冷媒の温度と圧力が上昇し、この冷媒は空冷凝縮器を通り、凝縮されます。最後に、管径の細いキャピラリーチューブを通過して、蒸発器内で液体冷媒へと戻ります。

内部温度は、冷蔵庫の背面にあるサーモスタットを使って、変更化させることができます。

7 設置と使用

7.1 梱包内容の確認

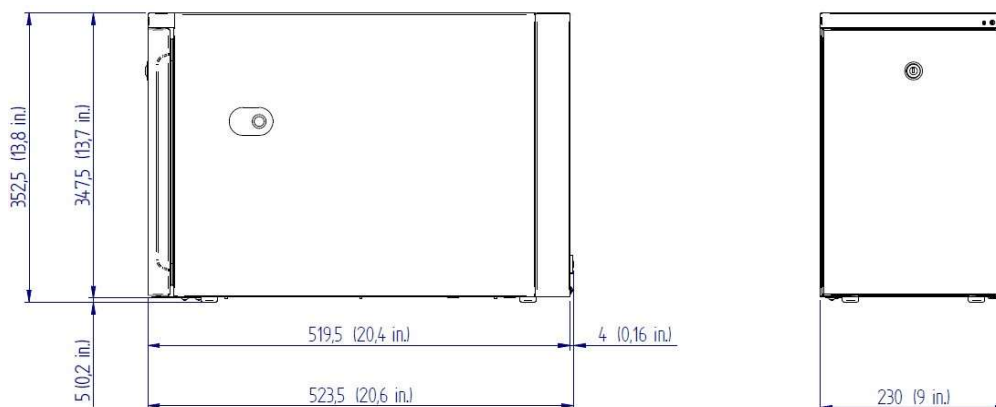
梱包が到着したら、内容物がひっくり返っていないか、輸送時に損傷を受けていないか、すぐに点検してください。梱包を解き、冷蔵庫が一切ダメージを受けていないか確認してください。

システム部品の状態に疑いの余地がある場合は、冷蔵庫を使用しないでください。

購入日から遅くとも1日以内に、損傷または異常について販売店に通知する必要があります。

7.2 設置

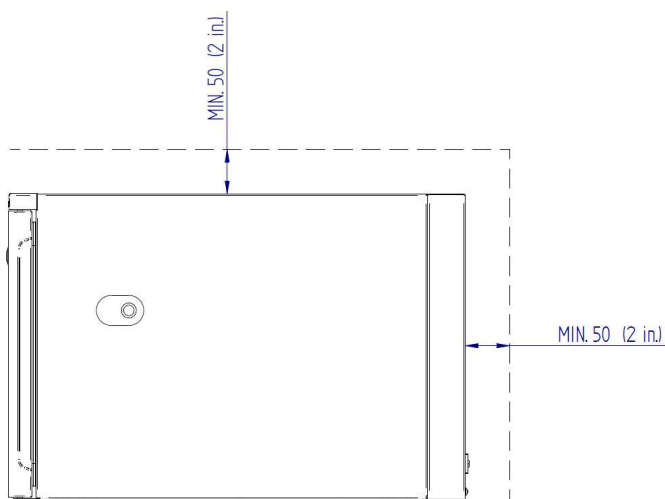
この WMF クーラー6.5LT の全体寸法は以下の通りです（単位ミリ/インチ）。



冷蔵庫は水平面に設置してください。必要に応じて、調整脚を使用して水平にしてください。

冷蔵庫の位置を決定する際、凝縮器の熱を放出するため、冷蔵庫の背面パネルと壁の間に少なくとも50mm（2 インチ）の隙間をあける必要があります。

冷蔵庫の上面パネルと壁の間も同様に少なくとも 50mm（2 インチ）の隙間があくようにしてください。冷蔵庫の両側の隙間に関しては、特に指定はありません。



7.3 電気接続

この WMF クーラー6.5LT には、ドアの上のプラスチック前面に主電源スイッチと 背面にIEC ソケットが装備されています。

冷蔵庫を主電気回線に接続する前に、その電源が、本製品に貼付されているラベル（電圧、相数、周波数ネットワーク、アンペア）と同じ内容に適しているか確認してください。

冷蔵庫のアース接地は義務となっています。そのため、冷蔵庫を接続する電気システムが接地しているか、さらに接地システムが完璧に機能しているか確認してください。

上記の指示に従わなかったことに起因する人的および物的損害について、メーカーでは一切の責任を負いません。

冷蔵庫を主電気回線に接続するには、できる限り、アダプタや延長コードやテーブルタップを使用せずに、電気ソケットにプラグを挿入してください。これらの使用が不可欠となる場合は、現行の安全規定を準拠した製品を使用し、決して容量（電流）を超えないように注意してください。

7.4 使用

クーラーが立った状態で輸送されて来たか不明の場合は、スイッチを入れる前に、少なくとも2時間は立った状態にして置く必要があります。

この WMF クーラー6.5LT には、冷蔵庫内にあるタンクからミルクを吸出すチューブを通すための楕円形の開口部がサイドに付いています。

この冷蔵庫は備え付けタンク（密封されたミルクタンク）とのみ使用することができます。

コーヒーマシンのモデルに応じて、冷蔵庫の接続方法は以下の通りです。

コーヒーマシン横のカウンタートップクーラー
(Prestolino!, presto!, 1800S, 2000S)

*チューブガイド噴出口を取り外し、クーラーの外側から穴に通します。

*必要に応じて、噴出口をカットします。

*ミルクチューブを接続します（図参照）。



コーヒーマシン横のカウンタートップクーラー
(bistro!)

* チューブガイド噴出口がクーラーの穴と bistro!接続口に
届く距離になるように、クーラーを bistro!横にセットします。

*ミルクチューブを図のように接続します。



クーラーのスイッチを入れる

*電源プラグをコンセントに差し込みます。

*クーラーの電源スイッチを入れます。スイッチ
ライトは緑に点灯します。

冷蔵庫の内部温度が安定してから、
ミルクや同様の飲み物を注入することをお勧めします。

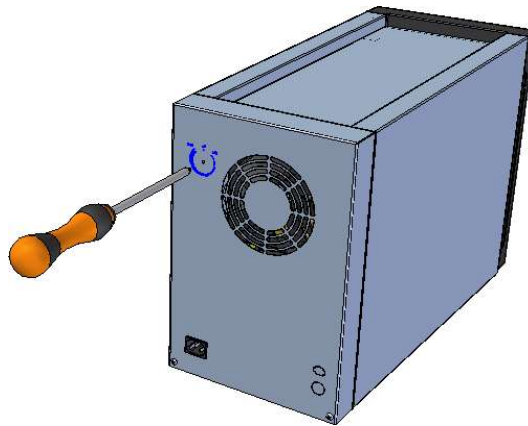


*このクーラーは、ミルクを低温に保つことはできませんが、ホットミルクを冷却することはできません。

*必ず予冷したミルクを使用してください。

温度設定

冷蔵庫の温度は、図のように、ドライバーを使用して、背面に配置されたサーモスタットから調整することができます。



サーモスタットがOFF に設定されている場合は、冷蔵庫はオフになります。このサーモスタットをMIN に動かすと、冷蔵庫がスタートします。

WMF クーラー6.5LT が、設計された用途に最適な温度調節範囲は、MIN と MAX の間であり、メーカーによってすでに設定されています。

サーモスタットが MAX に近づくにつれて、冷蔵庫内の温度は低くなります。

注記：この冷蔵庫は、このダイヤルを、MAX の位置よりもできる限り時計回りに回すことで、MAX に設定して得られる温度よりも低い温度で運転することが可能です。

しかし、これらはミルクまたは同様の飲み物を保管するには想定外の温度です。よって、メーカーでは、この冷蔵庫のこのような目的での使用を推奨していません。さらに、この製品は、ミルクまたは同様の飲み物を温度管理された状態で保管するために設計・製造されているものであり、常温からこれらの飲料を冷却するためのものではありません。

サーモスタットの調節は、冷蔵庫の内部温度に間接的に作用します。

スイッチを入ると、冷蔵庫は機能し始めますが、冷蔵庫内が希望する温度に達するまでには一定の時間（サーモスタット設定のみならず外部温度による）がかかります。

冷蔵庫内の温度が一定になってからミルクまたは同様の飲み物を入れてください。

ミルクタンクの注入

- *フロントドアを開きます。
- *ミルクタンクを引き出します。
- *ミルクタンク後ろのキャップを押します。
ミルクチューブは取り付けられたままです。
- * ミルクタンクにミルクを注ぎます。
- *タンクの後ろにキャップをセットします。
- *ミルクタンクを慎重に押し込みます。
- *フロントドアを閉じます。



- *ミルクノズルは、マシンのミルクフォーマーにセットされます。
- *ミルクチューブがよじれないようにしてください。

空メッセージ（オプション）

残量レベルが一定量に達すると、コーヒーマシンのディスプレイに空メッセージが表示されます。

- ▶コーヒーマシンのユーザーマニュアル ▶ソフトウェア
- ▶設定 ▶ミルク

- *ミルクタンクを注入します。
- *ディスプレイでOKを押して、ミルクタンクへの注入を完了します。

残量レベル低の警告メッセージが消えます。

空になったクーラー内部を維持します。これにより、誤動作を防ぎます。

ミルクの残量レベルセンサを正しく機能させるため、ミルクタンクはクーリングボックスの奥壁にあたるまでしっかり押し込んでください。

プラグ & クリーンによる洗浄（オプション）

クリーニングプログラム ▶ コーヒーマシンのクリーニング

*プラグ & クリーンアダプタ付きミルクチューブをプラグ & クリーンソケット内に挿入します。

*アダプタが止まるまで、アダプタをソケット内で時計回りに回します。

* フロントドアを閉じます。



クーラーのスイッチを切る

*電源スイッチを使って、クーラーのスイッチを切ります。

スイッチライトが消えます。

*電源プラグを抜き取ります。



このマニュアルの指示に従わなかったことによって生じる損害は、保証の対象外となります。

長期間、運転を停止する前には庫内清掃してください。ドアはわずかに開いた状態に維持してください。



7.5 霜取り

WMF クーラー6.5LT を長期間使用すると、庫内の壁に氷が付着することがあります。

この氷が厚くなってしまったら、冷蔵庫の効率を維持し、余計な電量消費を回避するためにも、冷蔵庫内の形成されてしまった霜を取り除くことをお勧めします。

冷蔵庫の霜取りは、サーモスタットダイヤルをオフに回します。霜取り作業を迅速に済ませるためにも冷蔵庫のドアは開けたままにしておいてください。

冷蔵庫の内壁に接している蒸発器にダメージを与えてしまう可能性があるため、氷を取り除くのにツールや工具などは絶対に使用しないでください。

この指示に従わなかったことによって生じた冷蔵庫への損害について、メーカーでは一切の責任を負いません。

霜取りが終了し、冷蔵庫内を掃除し、しっかり乾燥させたら、サーモスタットを希望の位置にセットして、冷蔵庫のスイッチを入れてください。

7.6 掃除とメンテナンス

冷蔵庫の掃除またはメンテナンス作業を行う前には、電源を切り離してください。この指示は、冷蔵庫の背面パネルに貼付されているラベルにも記載されています。

CAUTION

Disconnect from supply
source before servicing

冷蔵庫の外側（プラスチック鋼板）は、最初に温水で洗ってから、冷水できれいにし、柔らかい布で乾燥させてください。研磨製品は使用しないでください。

冷蔵庫内を掃除する際は、ミルクまたは同様の飲み物用タンクを取り出した後、温水で汚れを拭き取ってください。油分を拭き取る際は、必要に応じて、少量のお酢を使用してください。きれいな水できれいにしたら、柔らかい布で乾燥させてください。研磨製品、洗剤または石けんは決して使用しないでください。

さらに、冷蔵庫背面にある冷却装置の空冷凝縮器がきれいかどうか確認することをお勧めいたします。目詰まりがひどい場合は、掃除機を使用して、埃を取り除いてください。

長期間使用しない場合は、電源から冷蔵庫を抜き取り、完全に空にして、掃除をしてから、カビや異臭を防止するため、ドアをわずかに開いた状態に維持してください。


7.7 特殊メンテナンスと修理

冷蔵庫の修理とメンテナンスを確実に行うことができるのは、資格を持った専門家のみです。

修理領域にアクセスできるのは、特のその安全と衛生的観点から、この装置に関する知識と実践的経験を持った人のみとなっています。

管理やメンテナンスの妨げとなるような冷蔵庫の設置はしないでください。部品交換が必要な場合は、純正部品を使用してください。

8 廃棄

この冷蔵庫が使用できなくなった場合、家庭用ごみとして処分することはできません。リサイクルセンターにお持ち込みいただく必要があります。これは、製品ラベルのシンボル  によっても記されています。

現行の規定に従い正式な認可を受けた、専門のごみ収集センターを利用してください。

正しい廃棄が行われない場合、使用されている特定の物質の関係で、環境に害をもたらす可能性があります。

システム内の冷媒は、普通ごみとして処分することができません。

不適切な処分または製品の不法投棄は、現行の規定に記されている通り、行政上/犯罪上の厳しい法的 罰則につながります。

9 保証請求

保証期間は、エンドユーザーへ納品された日からのスタートとなります。

販売店は、常に、この保証期間内に発生した不具合を修理しなければなりません。

特に重大な損害を受けての損害賠償請求など、この保証期間外の請求については、法律によって許される範囲内において除外されます。

素材の欠陥は直ちに書面にて販売店に報告しなければなりません。以下につ

いては保証対象とはなりません。

- －すべての摩耗・消耗部品－これには、ミルクタンクやミルク回路部品、さらにドアのパッキンが含まれます。
- －気象要因、化学的・電気化学的または電氣的要因に起因する不具合
- －本製品の使用上の注意、ルール、メンテナンスおよびお手入れに関する処理に従わなかったことに起因する不具合
- －純正部品を使わなかったこと、または購入者もしくは第三者による誤った組み立て、または誤ったもしくは不注意な取り扱いに起因する不具合
- －当社の同意なしで誤った変更が行われた場合、または購入者もしくは第三者によって修理や再調整が行われた場合
- －不適切または意図しない使用に起因する故障

10 トラブルシューティング

以下の表は、冷蔵庫の誤動作が生じた際に行う点検に関する情報が含まれています。

ここに記載されている点検を行っても冷蔵庫が正しく機能しない場合は、お近くのアシスタントサービスまでお問い合わせください。

問題	推定される原因	解決策
冷蔵庫が起動しない	電源系統	電源コードが電源ソケットに正しく差し込まれているか確認してください。 主電源スイッチが【I】になっているか確認してください。 ネットワークの電気パネルの自動ブレーカーがオンになっているか確認してください。
	サーモスタット	差込プラグが機能しているか確認してください。 電源コードが破損していないか、壊れていないか確認してください。 サーモスタットがOFFにセットされていないか確認してください。
冷蔵庫がうるさい	位置	冷蔵庫がきちんと水平に置かれているか確認してください。 冷蔵庫が、その振動を増大させる可能性のある備品やその他の物に接触していないか確認してください。
	冷媒管	冷媒管または冷媒回路部品が接触していないか確認してください。この点検を行うことができるのは、専門の修理エンジニアのみです。
冷蔵庫の冷却能力が不十分	ドアの開	ドアが正しく閉じられているか確認してください。さらにパッキンがどこも破損していないか確認してください。
	閉位置	
	凝縮器	冷蔵庫の凝縮器の熱が（背面パネルから）正しく放出できる場所に設置されているか確認してください。
	霜	凝縮器ファンが正しく廻っているか確認してください。 凝縮器に埃がたまっていないか点検してください。必要に応じて掃除してください。 冷蔵庫内部が氷で覆われていないか確認してください。必要に応じて霜取りしてください。